

WEEKLY

一宮

題字 PG 安野謙次

Rotary
一宮RC



The Rotary Club of Ichinomiya

●例会日 木曜日 ●例会場 一宮商工会議所 ●承認日 昭和24年12月31日
●事務局 ☎491-0858 一宮市栄4-6-8 一宮商工会議所ビル5階 電話(0586)24-1931

UNITE FOR GOOD

URL: <http://rc138.org> E-Mail: rc138@lily.ocn.ne.jp



重文 「陵王」面 真清田神社蔵

2026年1月15日

第3663回例会

プログラム
クラブアッセンブリー
上半期報告・下半期計画

ロータリーソング「我等の生業」

1月度のプログラム

1日 休会 元旦
8日 一宮4RC合同新春例会 真清田神社:参集殿
15日 クラブアッセンブリー 上半期報告下半期計画
22日 卓話 平松千直氏(料亭 菊水四代目)
29日 例会変更 夜間例会 日本料理 江美

会員誕生日おめでとう

山口元彦君(1月 1日) 野村和弘君(1月 4日)
大丸貴子君(1月 4日) 清水敬介君(1月12日)
山田一仁君(1月15日) 木村憲彦君(1月16日)
大森輝英君(1月20日) 森島勝美君(1月22日)
野村晃充君(1月22日) 土川保夫君(1月26日)
石黒敬康君(1月26日) 鶴飼雅弘君(1月26日)
長谷川勝久君(1月29日)

会員夫人誕生日おめでとう

山口元彦君夫人 陽 子様 (1月 3日)
鈴木洋志君夫人 正 子様 (1月 4日)
山下貴稔君夫人 真理様 (1月 5日)
原 正則君夫人 多寿子様 (1月 8日)
松原直次君夫人 美和子様 (1月15日)
吉田真人君夫人 直 美様 (1月30日)

結婚記念日おめでとう

服部良太君(1月11日) 山口雅志君 (1月26日)
重光裕文君(1月26日) 西岡隆夫君 (1月29日)
野村和弘君(1月29日) 伊藤彰彦君 (1月29日)

第3661回例会の記録
2025年12月25日(木)

副会長挨拶

皆様、本日はお忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。会長代理として、年末のご挨拶をさせていただきます。

梯 國彦

次回の予定

卓話

平松千直氏(料亭 菊水四代目)

会長 山上 哲 司 会長エレクト 桑 原 英 寿
副 会 長 梯 國 彦 副 幹 事 吉山佐人規
幹 事 大 鹿 晃 裕 会報委員長 梅 谷 朋 志

今年を振り返りますと、政治・経済ともに先行きが見えにくいという言葉は何度も耳にした一年だったように思います。物価の上昇、国際情勢の変化、為替や金利の動きなど、私たちの日常や事業にも少なからず影響がありました。ただ、こうした時代だからこそ、ロータリーの存在意義がより大きくなるのではないかと感じています。この時代だからこそ、多様な経験を持つ仲間が集まり、知恵を出し合い、支え合うことに価値があります。ロータリーは、志を同じくする仲間の集まりです。仕事の話も、地域の話も、時には悩みも、安心して語り合える関係がここにはあります。来年も、政治や経済の環境は決して楽なものではないかもしれませんが、しかし、だからこそ私たちは顔を合わせ、対話を重ね、互いに刺激を受けながらそれぞれの立場で一歩前に進んでいきたいと思ひます。

本年も、皆様のご理解とご協力のおかげで、ロータリー活動を無事に進めることができました。こころより感謝申し上げます。来年もまた、このロータリーの仲間と共に、地域のため、そして自分自身の成長の為に一緒に頑張っていきたいと思います。

どうぞ、良いお年をお迎えください。ありがとうございます。

ロータリーの友12月号

西岡信幸

今年度の表紙は読者のみなさんからご応募いただいた絵画作品が表紙になるということで今月は「突き進む蛇のごとく」のタイトルで元・名古屋芸術大学ローターアクターの木村駿斗(はやと)さんの作品です。プロレスラー兼アーティストを目指す中で、ローターアクトクラブに出会い、その経験で水の流れるに反して動く蛇のごとく夢に向かってチャレンジしたいという想いを表現しています。縦表紙も学校からの帰り道に見た冬の景色のイメージを現在、ご自身は北米に滞在している中で、異国にいなながらもなぜ人は夕焼けを心に動かされるのかを表現した第2580地区・元ロータリー青少年交換学生の大山真凜(まりん)さんの作品となります。

今月は「疾病予防と治療月間」ということで、「進化する世界ポリオデー事業」と題し事例がいくつか紹介されています。ロータリー公共イメージコーディネーターと「ロータリーの友」とのタイアップで、全国からポリオ絶滅活動のエピソードを募集し、募金活動からワクチン投与活動まで多岐にわたるエピソードを今月号から全3回に渡って紹介されます、興味深い内容となっております。

5頁よりロータリー談義特集として「3人寄らば、何とやら? 話に花を咲かせましょう」ということで2018年に国際協議会で研修リーダーとして活動した歴代ガバナーのお三方による座談会が掲載されています。「今日は何を学んだ?」「ロータリーの魅力って何だろう?」等、私たちが活動をする上でご自身の経験談を交えての座談会になっております。縦組み2頁からは日本生まれ、世界育ちの母子手帳と題して、公社日本 WHO 協会理事長の中村安秀さんが母子手帳の成り立ちや、それが世界にどのような影響を与えたのかをお話されています、興味深い内容です。この人を訪ねては今月は青森ロータリークラブの坂井哲博(てつひろ)さんがご紹介されています。

委員会報告

ニコボックス

野村和弘

☆ 土川保夫君

12月16日、商工会議所ゴルフ会で紅組優勝となりました。スコアは良くなかったですが楽しいゴルフ会ができました。

☆ 高木道久君

次女が京都の下鴨神社で結婚式を挙げて嫁ぎました喜びで。披露宴は八坂神社の近くでしたが、大勢のインバウンドで移動が大変でした。

☆ 萩原 仁君

先日のお楽しみ抽選会に於いて、自社商品を引き当てた上、アンコールにお応えできませんでした。一番欲しい商品に投票していたので、どうかお許し下さい。ありがたく頂戴致します！

☆ 吉田真人君

本日は、フランス・アルザス日本代表部日本代表の後藤淳子さんをお招きして、アルザスの魅力や国際交流等について卓話を頂きます。また、その上貴重なワインまで頂戴致しております。誠に有難う御座いました。

☆ 梯 國彦君 大鹿晃裕君

本日は上期最後の例会にフランス・アルザス日本代表部日本代表の後藤淳子さんをお招きして、美味しいアルザス地方のワインを味わいながらの卓話を楽しみにしております。また会員の方におかれましては良い年末年始をお迎え下さい。また年明けからの下期も宜しくお願い致します。

出席報告

現在の会員数 110名

本日の出席数 74名

前々回の出席率 100%

***** プログラム *****

後藤淳子氏

フランス アルザス日本代表部 日本代表

「日本とアルザス」

日本-アルザス友好160周年



本日はこのクリスマスの日アルザスについてお話しできること光栄に存じます。アルザスはクリスマスツリー発祥の地であり、サンタクロースの原型とされる「サンニコラ(聖ニコラ)」の風習が残る地域です。

アルザスはラリックやバカラに代表されるガラス工芸が伝統的に盛んな地域です。昔はクリスマスにはヴォージュ山脈から切り出したもみの木に生のリンゴや果物を飾っていました。ある飢饉の年に果物を飾ることができなかつたため、地元のガラス職人に依頼し、ガラス製のリンゴや果物を作り、飾ったのが始まりです。これが現在のクリスマスオーナメントとなり、世界にクリスマスツリーを飾る習慣が広まりました。今、私達が飾る丸いオーナメントボールは、形はリンゴに由来し、豊穡や永遠の命を願う意味が込められています。また、「サンニコラ」とは子供の守護聖人の名前で、その聖人を祝う伝統的なお祭り「聖ニコラの日」があります。アルザスでは毎年12月6日は子供達にお菓子やチョコレートを配ったり、マナラ(人型のパン)を食べます。このサンニコラの風習がサンタクロースのルーツとなっています。アルザスではクリスマスシーズンになると街のあちこちにクリスマスマーケットが立ち並び、美しいオーナメントや地元の工芸品が売られ、ホットワインを片手にそぞろ歩きを楽しみます。「パン・デピス」と呼ばれるシナモンなどのスパイスの入った焼き菓子も名物となっています。

アルザスはフランス、ドイツ、スイスの国境にあり、ヨーロッパ大陸の中心に位置しています。州都であるス

トラスブルは「街道の街」を意味しており、古くからヨーロッパの十字路として開ける国際都市です。現在は欧州議会が置かれ、EUの頭脳として重要な役割を担っています。イル川に囲まれた旧市街は街全体がユネスコの世界遺産に登録されています。バラ色の砂岩で建てられたストラスブル大聖堂は11世紀の創建で、からくり人形が動き出す天文時計が有名です。ストラスブルから南下すると「アルザスワインの都」コルマルがあります。コロンバージュと呼ばれる木組みの家々が並び、宮崎駿監督の映画「ハウルの動く城」の舞台として登場します。アルザスワイン街道には100以上の美しい村々が真珠のように繋がっており、今なお伝統的な手法でワイン造りをしています。

2025年、大阪・関西万博のフランスパビリオンは「愛」がテーマでした。パビリオン内ではアルザスワインがフランスを代表するワインに選ばれ、ブドウ畑の土壌からワインができるまでの過程を展示で体験することができ、ビストロでは6ヶ月間に亘り厳選された75のワイナリーのワインを料理と共に堪能することができました。本日のアルザスワインはリースリングとゲベルツラミネールです。共に万博にも出品され、世界ワインコンクールで金賞を受賞したアルザスを代表するワインです。

コルマルからさらに南下するとスイス国境の街、ミュールーズとなります。

ここは160年前に日本と交易が始まった地です。当時、江戸末期の日本はまだ鎖国が解けたばかりでした。日本の商人が和柄をもって当時染織で世界をリードしていたミュールーズで日本にはまだなかったウール布地に染織を依頼し、輸入したのが始まりです。日本の意匠を見たアルザス人はその素晴らしさに感動し、後のモノやゴッホといった印象派や「ジャポニズム」に発展しました。この一宮の地も繊維業が盛んで素晴らし製品を世界に出されています。そこから工業が発達し、栄えた歴史はアルザスと共通しています。現在、アルザスでは伝統的な工業をもとにバイオ・メディカル、次世代モビリティ、再生エネルギーなどイノベーション分野での産業も積極的に取り組んでおり、日本との連携も盛んです。コロナ禍では人の行き来が遮断された時期もありました。しかし今はまた自由に行き交うことができます。やはり人は実際に会ってこそ心が動くのだと思います。160年前に日本からアルザスへの出会いがあったように、今後も様々な出会いの中で友好の絆が続いていくことを願っています。

第3662回例会の記録 2026年1月8日(木) 例会変更 一宮4RC 合同新春例会 真清田神社: 参集殿

会長挨拶

山上哲司

新年あけましておめでとうございます。

本日は恒例の一宮4ロータリークラブ合同新春例会に、一宮市長・中野正康様をお迎えし、多くの皆様にご参集いただき、ありがとうございます。心より御礼申し上げます。私ども4つのロータリークラブ、即ち尾西RC、一宮北RC、一宮中央RC、一宮RCは血の繋がった親戚クラブであり良き隣人であります。長きにわたり「奉仕の理想」を胸に、互いに協力し、切磋琢磨してきた歴史と伝統があります。新しい年を迎え、これを継承し、次の世代に伝えていくことの大切さを改めて強く感じております。最後になりますが、本日お集まりいただいた皆様の弥栄を心より祈念し、私のご挨拶とさせていただきます。

